

第1回「アジア青年の家」(内閣府主催)における講義について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、内閣府主催の青少年育成プログラム「アジア青年の家」において、当社の環境への取り組みについて講義を行いますのでお知らせいたします。

第1回「アジア青年の家」は、内閣府が主催し、日本の中高生45名と同世代のアジア諸国の青少年30名が、沖縄で共同生活を行いながら、環境問題をテーマに、共に学習するプログラムです。

参加者は、環境問題に詳しい講師から直接講義を受ける機会が設けられております。その一環として、企業の技術者による講義(8月20日(水)を予定)があり、ここで当社は「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM」について、講義いたします。

当社は、グループ理念に「エネルギーの未来を創造し 人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」を掲げ、CSR活動強化の一環として、今後も、積極的に次世代育成支援活動を推進してまいります。

記

1. 「アジア青年の家」について

- (1)参加人数:75名(アジア諸国(14カ国)30名、本土30名、沖縄15名)
- (2)実施期間:平成20年8月6日(水)~8月27日(水)
- (3)実施場所:糸満市、名護市、渡嘉敷村の公共施設(青年の家等)を利用

2. ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM概要

当社は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、CO₂排出削減プロジェクトを推進しています。本プロジェクトは、CDMの方法論(国際ルール)の確立、CDMのプロジェクト設計書の作成、実際の測定に至るまで全工程を自社で行い、2006年2月にCDM登録、2008年2月には排出権発行が認められました。

以上